



和田重良

NPO法人くだけけ会代表
1948年小田原市生まれ
くだけけ生活舎での共同生活
(人生科や農作業)をとおして、
青少年や家庭の生活にさまざまな
メッセージを送っている。

「魔法の薬」ってありますか？

一日一日、一步一步



南足柄あんしん講座

なんでそんなに急ぐのだろう。
「その場足踏み」なんかしてはられないような気がして焦らされる「生活」「教育」……その先にある「しあわせ」って何なのだろう。
まあ、ほくらのような閑人だからこそそんなことを思うのですが、そんなことを考えている暇もない人たちがたくさんいるようです。

「忙しい、忙しい」と言いながら「心ここにあらず」のお父さんお母さんもいて、まあたいしたことではないのですが……。
何か用事を頼むと、「今そんなヒマはねえ」なんて言いながらゲームしてるっていう子もいるとか……。「ゴハンよ」と呼ばれてもゲームに熱中しているとか……要するに大事なことの基準が狂ってしまっているのです。

あせっちゃダメだよ

テキストの『人生タネの本』「足踏みして地固め」のページをご覧ください。
とにかく前へ進むことばかり考えて焦ります。焦れば焦るほど不安が増してきます。それで行き詰ってしまえばそれでまた落ち着けるのでしようけど、いつまでたってもカラ回りしている人がいます。

先へ、先へ、速く、速く……と言っているうちに地獄のような不安と焦りに取りつかれて結局何もしていない。ほんの小さな進歩も味わえなくなっています。
その原因は、「方法を外に求める」というところにあります。
「ああしたい、こうしたい」がカラ回りして「どうすれば、こうすれば」と身につかない方法ばかりを求めて結局手も足も出なかつたのではないのでしょうか。

「今、ここ」から出発

人間の頭ではどうにもならないことがたくさんあ

ります。理屈通り行っていると思えることもありませんが、妙（不思議な）なるものもあるのです。
とにかく「今、ここ」を生きて行くことを出発とします。

先へ先へと行くのではなく「今、ここ」を大切に生きてみます。
一字一字、一ページ一ページいいいに勉強するという要領です。

スピードもなるべくユックリがいいのです。新幹線より普通電車、車より自転車、自転車より歩く……そうすると見えるものも違ってきて、味わい深さも変わってきます。

とにかく、これは心持ちの話です。実際には車にも乗るし、新幹線にも乗っています。しかし、もう一方で一つ一つをいいいに、一步一步を味わいながらやることで妙なるものに出会っていきます。
裡(内)なるものを引き出す

内に求めるものは方法ではなくて「方向」です。「人生」を考えるのにも「教育」を考えるのにも、まずは「方向」を定めなくてはなりません。それは

方向が間違った上にもすごいスピードで走って行ったらとんでもない所へ行ってしまうからです。「楽な人生」を求めている若者がいます。「楽」というのが方向を間違えればあつという間に「地獄行き」だという例はたくさんあります。「楽しい人生」と言ったって方向を間違えれば簡単に「苦しい人生」に行き着きます。

そこで、一步踏みとどまって、「裡(内)なるものを引き出すこと」に目を向けてみることにします。清らかな波の音のくり返しに耳を傾けるとそこから受け取れる妙なるものが存在しています。人間の頭の計らいを捨てて、ジックリと受けとれるものがあります。

くり返す波の音のように、ほくらの生活も毎日毎日のくり返しです。そのくり返しの中にあるいろいろな「人生の意味」が入っているのです。焦って不安になって、さらに先へ先へと急ぐばかりでは裡(内)なる力は引き出すことはできないのです。

「一日一日、一步一步」

7・8月のキーワード

人生の宝庫を開く〈三つの鍵〉

- ・ケチな根性はいけない
- ・イヤなことはさけないで
- ・ヨイことはする

気持ちがあせっても
歩く時は
一步一步しか
進めません



どんなに長い苦勞もこういう味わいの中で解消していきます。それは、ジックリと受けとれる不思議の力があるっていうことです。

受験勉強で本物の力をつけた子も、味わい深いよい人生を生きた老人も共通しているのは基本のくり返しをジックリやっているのです。